

Part 1 基本情報

1. バヌアツプロフィール

(1) 正式名称	(和文) バヌアツ共和国 (英文) Republic of Vanuatu
(2) 政体	共和制
(3) 首都	ポートビラ
(4) 面積	1万2189平方km
(5) 人口	21万5000人(2004年)
(6) 民族	メラネシア系93%、欧州系(英仏)2%、その他中国系、ベトナム系など
(7) 言語	公用語: ビスマラ語(ピジン英語)、英語、フランス語
(8) 宗教	キリスト教80%以上、伝統宗教8%、その他約10%
(9) 略史	1605年スペイン人到達。1774年キャプテン・クックが探査。1906年英仏の共同統治下に入る。1980年英連邦の一員として独立。
(10) 在留日本人	62名(2006年5月)
(11) 気候	熱帯海洋性気候で高温多湿であるが、南部の島々では亜熱帯性に近く、乾季には比較的涼しい。11月から4月の雨季には長い無風期と、熱帯性サイクロンおよび北風による暴風雨が生じる時期がある。

【参考】

「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」 外務省
『最新世界各国要覧 10訂版2000』東京書籍

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要(バヌアツ駐在員事務所)

住所 : Pierre Lamy Street, Port Vila, VANUATU

連絡先 : 国番号 : 678

市外局番 : なし

電話 : +678-23546/24254

FAX : +678-22818

時間外・休日などの緊急連絡先 : 電話: 該当情報なし。

URL : <http://www.jica.go.jp/vanuatu/index.html>E-mail : jicava@jica.go.jp

執務時間 : 7:30~16:30(昼休み11:30~13:30)

休日 : 「(3)官公庁の休日」のほか1月2日、12月31日(2007年)。

事務所までの交通

【空港から】

バス(ナンバープレートに「B」と記載)の行き先は決まっていない。まず手を挙げてバスを止め、行き先を言って運転手が承知すれば頼んだところまで行ってくれる。行き先は「チェンバー・オブ・コマース(商工会議所)」または「ナショナル・プロビデント・ファンド」と言えばよい。片道100バツ(VT)。

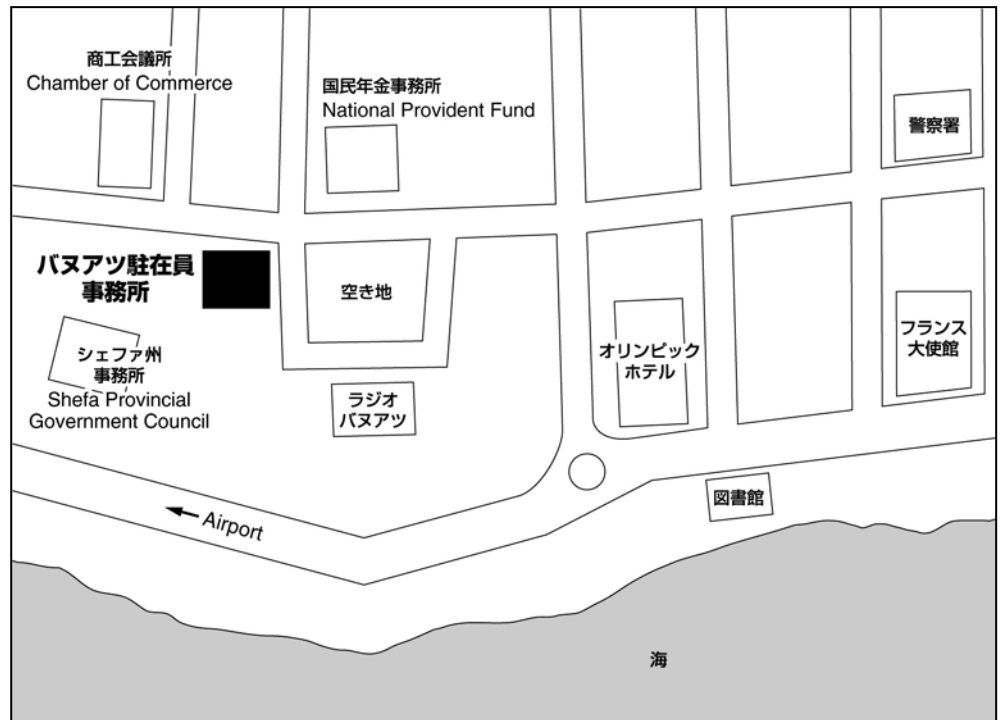
タクシーの場合は片道1000 VT(公定料金)。

【空港以外から】

空港からと同様に、バスまたはタクシーで上記と同様に行き先を告げる。バスは首都内で

あれば100 VT均一。タクシーは乗る際に料金の交渉が必要。首都内なら500VT以下。一部料金メーターのついたタクシーもあるが、時間制のため、かなりゆっくりと走られ、時には通常の2倍の額を請求されることもある。

事務所周辺地図



- (2) 日本との時差、日本との時差 : +2時間
 サマータイム サマータイム : 実施していない。

- (3) 祝日、
 官公庁の休日 祝日 :

1月 1日	元日
2月 21日	ウオーターリニー記念日
3月 5日	カスタム・チーフの日
4月 6日	グッド・フライデー
4月 9日	イースター・マンデー
5月 1日	メーデー
5月 17日	キリスト昇天祭
7月 24日	子供の日
7月 30日	独立記念日
8月 15日	マリア被昇天祭
10月 5日	憲法記念日
11月 29日	ユニティー・デー
12月 25日	クリスマス
12月 26日	家族の日

(2007年)

官公庁の休日 : 上記祝日と土曜日、日曜日。

- (4) ビジネスアワー 官庁 : 7:30~16:30
 銀行 : 8:00~15:00、または8:30~16:00(銀行により異なる。)

土日祝日はすべて休み)

商店 : 8:00~17:00(土曜午後と日曜はほとんどの店が閉まるが、中国系の店とスーパーマーケットは営業している)

- (5) 言語 業務 : ビスマラ語のほか、英語、フランス語が十分通用する。
 ホテル、買い物、食事 : ビスマラ語のほか、英語、フランス語が十分通用する。
- (6) 通貨 通貨 : バツー(VT)(1 バツー=約 1 円)
 為替レート : 1 米ドル=106.80VT(2006 年 6 月 1 日現在)
- (7) 関係機関 【在外日本関係機関】
- ・日本大使館
 住所: 2nd Floor, Dominion House, 1 Suva, Fiji (在フィジー大使館: バヌアツ兼轄)
 電話: +679(フィジー国番号)-3304-633 FAX: +679-3302-984
- 【バヌアツの関係官公庁】
- ・Ministry of Agriculture, Forestry & Fisheries
 住所: P.M.B.9039, Port Vila
 電話: 23406
 - ・Ministry of Education
 住所: P.M.B. 9028, Port Vila
 電話: 22309
 - ・Ministry of Finance, Economic Development
 住所: P.M.B.9058, Port Vila
 電話: 23032
 - ・Ministry of External Trade, Foreign Affairs & Telecommunication
 住所: P.M.B. 9051, Port Vila
 電話: 27045
 - ・Ministry of Health
 住所: P.M.B. 9042, Port Vila
 電話: 22545
- (8) 有用サイト <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>(外務省「各国・地域情勢」)
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html>(外務省「渡航関連情報」)
<http://www.vanuatutourism.com>(バヌアツ観光局)

※「生活情報」は特に記載のない限り、駐在員事務所のあるポートビラの情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

首都ポートビラやサント島のルーガンビルなどでは電気、水道、冷房設備などが整ったホテル施設もある。しかし、それ以外の地域では、自家発電であったり、水が水道ではなくわき水や天水であったり、また冷房ではなく扇風機のみというホテルがほとんどである。

主なホテルは次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。



- ・Le Meridien(メリディアン)
- ・Le Lagon(ラゴン)
- ・Iririki(イリリキ・リゾート)
- ・Hotel Olympic(オリンピック)
- ・The Melanesian(メラネシアン)
- ・Kaiviti Village Motel(カイヴィティ)



Hotel Olympic

1-2 住宅事情

海外からの移住者用の賃貸住宅としては3ベッドルームタイプの独立家屋が多いが、2ベッドルームタイプやアパート形式も少数ながらある。アパートを除き、ほとんどが平屋で庭付きである。安全で適当な借家を探すのは難しい。ポートビラは電気・上下水道が完備している。安価な家屋ではバスタブのある家は少なく、シャワーのみが主である。

1-3 住宅の探し方

ほとんどの賃貸物件は、エージェント(不動産会社)を通してのり。主なエージェントは下記



のとおりである。

- ・Alliance Realty(アリアンス・リアリティ)
- ・Caillard Kaddour(カイラード・カドール)
- ・Island Property(アイランド・プロパティ)



Alliance Realty

1-4 住宅選定上の留意点

空き巣が多いため、角地やバヌアツ人居住地区に近い場所は避ける。ルーバーのガラスを外して侵入する空き巣の被害が多いため、防犯上、窓はルーバー式(ブラインドのような形態の窓)ではなく、スライド式の窓のほうがよい。さらに、防犯用の頑丈な網が窓に設置されている家が望ましい。ない場合は、入

居時に家主に防犯用ネットの設置を要望するとよい。サント島ルーガンビル地区も空き巣の被害が多いので、同様の注意が必要である。

防犯上はメインストリートに面していないほうがよいものの、メインストリートからはずれると、場所によってはゴミの収集になかなかこないところもある。近くにバーや現地の人の家があると、夜から朝までわずらわしいことがあるので、住居決定の際には夜間(特に週末の金曜日)にもチェックすることを勧める。また、排水などが悪い地域もあるので、雨天時のチェックも勧めたい。そのほか、特に市街地から遠く離れた住居の場合など、電話回線が引かれていないこともある。その場合は電話の開設は非常に困難である。開設できても、特別料金として、近隣からの配線工事料として数十万バツ(数十万円)請求されることがある。

一年中、蚊・ハエなどの害虫が多い上、マラリアやデング熱など蚊が媒介する病気も多いので網戸は必需品である。

外国人向けの借家の場合には家具付きが多い。契約の際には冷蔵庫、洗濯機、ガスレンジ、クーラー(一般にクーラー付きの借家は少ない)、温水シャワー、バスタブ、天井扇風機などが備え付けられているかを確認する必要がある。バヌアツではこれらが日本に比べてかなり高価なので、入居後に備えようと思わぬ出費を強いられることになる。設備が不十分な場合は、家主に、契約条件として、不備な家具、電気器具を付設することを要求するとよい。ただし、賃貸料金が少し高くなることがある。

住宅を探す場合は、現地に滞在している日本人に相談に乗ってもらうことを勧める。また、バヌアツに家主が住んでいない場合は、家の修理などの交渉に手間取ることもあるので、避けるほうが望ましい。

<借家料金例(外国人居住地域)(2003年10月現在)>

・アパートで2ベッドルーム、1ラウンジ、バスルーム、家具付き、ガレージありの場合

8万～10万バツ／月

・独立家屋で2ベッドルーム、1ラウンジ、バスルーム、家具付き、ガレージ、庭ありの場合

8万～15万バツ／月

・独立家屋で3ベッドルーム、1ラウンジ、バスルーム、家具付き、ガレージ、庭ありの場合

12万～25万バツ／月

1-5 住宅の契約

短期契約も可能ではあるが、契約期間は長いほうが好まれるため、1年以上が多い。通常、短期契約の物件は売り出す予定の家屋である。賃貸料はエージェント、または家主の口座に直接払い込む。一般には、住み始める時点で保証金(1カ月分)、印紙税(家賃の約13%)、1カ月分の前家賃を支払うケースが多い。契約解除条件の検討も忘れないようにすることが必要である。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

Yellow Page まず、賃貸住宅に住むにはユネルコ(UNELCO/電力・水道会社)へ行き、積算電力計の賃貸料ほか保証金などを支払う。電気代の請求は月1回(銀行自動振り替え可能)である。

水道もユネルコに保証金を支払って手続きをする。請求は3カ月に1度である。水道代は日本と大差ないが、電気代は日本の3倍程度と非常に高い。ガスはプロパン式なので、スーパーマーケットまたはガス店などで購入する。配達してもらうには別に配達料が必要となる。

Yellow Page 電話はテレコム・バヌアツ(連絡先はイエローページ「18.電話会社」参照)で手続きするが、新設には首都でも2~3週間を要する。初期開設料は9000バツ。請求は月ごとで料金は日本より高めである。支払いの期日に遅れると、すぐに接続を切られる。再接続には別途料金がかかる。

トイレは水洗式である。

1-7 家電

(1) 電圧

日本国内から電化製品を持参する際は、あわせて変圧器を持参するほうがよい。

バヌアツは電圧240V、周波数50Hzである。

(2) コンセント、モジュージャックの形

コンセントの型はオーストラリアと同様(ハの字型)であるため、日本製品を使用する場合はアダプターが必要である。電話のモジュージャックは日本のものと同様である。

(3) 家電製品

一般的なものはだいたい入手可能。日本、オーストラリア、シンガポールのメーカーのものが多い。

1-8 家具保険

火災や災害に備えて、家屋全体にかかる保険はあるが、家具のみの保険は扱われていない。また、盗難保険もある。

1-9 その他

近年は首都で空き巣が非常に増加しており、昼夜を問わず被害が出ている。仕事は防犯を第一に選定することが望ましい。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

蒸し暑い季節が11月後半から5月後半まで続くため、一年を通じて男性は半袖シャツ(ノーネクタイ)と長ズボン、女性はワンピースまたはブラウスにスカートという服装が一般的である。

現地の女性が日常着用しているアイランドドレスは、仕立てがゆったりしたワンピースで、これは日常着のみならず、礼服としてどんな式典にも着用して出席できる。女性の場合はこれを入手(2000~3000バツ)するのもよい。



アイランドドレス

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

一般に販売されている衣料の品質は悪い。スーツ、Tシャツ、下着、半袖ワイシャツ、綿製品の衣料および下着類、蒸し暑い日のための寝間着、涼しい季節のための薄手のセーター、カーディガンなどの持参を勧める。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

アイランドドレス。

(4) その他の留意点

6月から9月にかけて朝夕の気温が首都で摂氏20度前後まで下がるので、毛布、薄手のカーディガン、長袖のシャツを持参することが望ましい。現地でもある程度購入できるが、選択範囲は限られる。

2-2 礼装

(1) パーティー

インフォーマルと指定されるのがほとんどである。

(2) 式典

独立式典の招待状にはフォーマルと記載されることがあるが、それ以外でめったにフォーマルと記載されることはない。また、フォーマルとあってもネクタイとスーツで十分で、タキシードの必要はない。インフォーマルの場合はノーネクタイでよいが、一般的にはアロハシャツ。

女性の場合は、アイランドドレスでフォーマル、インフォーマルどちらの場合にも出席可能である。

(3) 冠婚葬祭

地域、家柄、式場により異なる。スーツを着用してもよい。

(4) その他の留意点

女性の着物姿も喜ばれるので、持っていれば持参してもよい。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

以前はドライクリーニング店もあったが、現在は営業しているところはない。ア

イロン、洗濯機、衣類乾燥機などは購入可能である。なお、コインランドリーもポートビラに数軒ある。

(2) 仕立て、修繕

中国系の仕立屋が数軒あり、腕のよい職人を抱えているところもある。店によってはフォーマルドレスの製作も可能である。

(3) 保管

雨季が長く湿度が高いため、衣類のカビ、虫には悩まされる。晴天のときはタンスを開け、風通しをよくする。中国製やオーストラリア製の防湿剤が手に入る。

2-4 美容院、理髪店

ポートビラには数軒の美容院がある。料金はセット・パーマで約6500バツ、セットのみでは約3500バツである。

調髪も美容院でやってくれる。カット・セットが2000～3000バツである。ただし、シャンプー、ひげ剃りは別途料金になる。一般的な外国製の美容・理髪用品は購入できるが、日本人の体質や好みに合わないことがあるので、プレシェーブローションや毛染めなど特殊なものは持参したほうがよい。



美容院

ポートビラにはフランス人の経営する美容院が数軒ある。フランス人がカットする場合は問題ないが、バヌアツ人の美容師などはあまりうまくはない。

JICA関係者はそれぞれ自分の好みの店を利用しており、特に1軒に集中することはない。店のレベルよりも、誰に担当してもらうかが問題である。

美容院には以下がある(詳細はイエローページを参照)。

 Yellow Page

・Head Hunter Salon

3. チップ



3-1 チップ事情

- (1) 習慣の有無
なし。
- (2) 各種サービスに対するチップ
なし。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

フランス領だったこともあり、良質なレストランやカフェがある。ただし、料金は高く、カフェの場合、サンドイッチと飲み物で1000バツ程度、レストランではコースとワインで7000バツ程度。中国料理店では1品1000バツから。

(2) 飲食店

ポートビラの主なレストランは次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。バヌアツではチップの習慣はない。

<中国料理>



- ・Bamboo Royal(バンブー・ロイヤル)
- ・Harbourview Chinese Restaurant(ハーバービュー)

<フランス料理>

- ・Vila Chaumieres(ヴィラ・シュミエール)
- ・Le Café de Village(カフェ・ド・ヴィラージュ)
- ・Tropic Bistro(トロピック・ビストロ)
- ・Harbourside Bar & Bistro(ハーバーサイド・カフェ)

<その他西洋料理>

- ・Waterfront Bar & Grill(ウォーターフロント)

<ジビエ料理>

- ・L'Houstalet(ル・スタレ)

<ピザ・軽食>

- ・La Pizzeria(ラ・ピザーラ)

<日本料理>

- ・Kanpai Bar & Sushi Japanese Restaurant(カンパイ)

* 2006年6月現在、移転改装中

このほかに、ホテルのレストランがある。

4-2 食料

(1) 一般事情

ポートビラ(エファテ島)とルーガンビル(サント島)では、日常の食生活に必要なものは、スーパーマーケットまたは個人商店で入手可能である。それ以外の地域では、入手できる商品が限られているので、地方に行く時は首都ポートビラやルーガンビルで調達するのがよい。

ポートビラには、大型スーパーマーケットが4軒と、多数の小規模の個人経営(主として中国系)の店がある。オーストラリア、ニュージーランド、中国製品が多いほか、フランス製のものも入っている。

食品衛生については都市部と地方との差が極端である。大型スーパーマーケットでも賞味期限切れのものが売られているので、注意が必要である。

(2) 主な食品の出回り状況

以下は主としてポートビラ、ルーガンビルにおける状況である。価格は2006年6月現在のものである。

<米>

オーストラリア産で、味や品質は日本の銘柄米とさほど差はなく、どの店でも入手が可能である。価格は130バツ/kgである。

<パン>

数軒のパン工場があり、焼きたても入手できるし味もよい。スーパーマーケット、個人商店でも入手可能である。フランスパンを中心としてさまざまなタイプがあるが、日本とだいたい同じくらいの価格。

<肉類、卵>

牛肉は日本に比べて安価(500~800バツ/kg)で良質である。新鮮な鶏肉も入手できる。豚肉は牛肉以上の価格で、入手も困難である。卵はどの店でも購入できるが高い(1個29~33バツ)。そのほか市場にフルーツバット(コウモリ)・鶏・豚が並ぶこともある。

<野菜>

バナアツ産の野菜は季節により変わる。品質にむらがあり、虫がついていることもある。オーストラリアやニュージーランドからの輸入品は、バナアツ産よりも品質がよいが、高価で種類も少ない。入手可能な野菜としては、キャベツ、イモ類、ニンジン、ピーマン、大根、ナス、カボチャ、クレソン、白菜、チンゲン菜、タマネギなどがある。入手不可能なものは、ゴボウ、ホウレンソウなど日本人好みの野菜である。

<果物>

ココナツ、バナナ、パパイヤは市場で常時入手できる。オレンジ、マンゴー、グレープフルーツ、ラズベリー、パイナップルは季節ものである。そのほか、輸入品の洋ナシ、リンゴ、ブドウ、ネクタリンなどが大型スーパーマーケットで入手可能である。



市場

<魚類>

新鮮な魚を得るためには、こまめに魚屋、大型スーパーマーケットをのぞくことが必要である。入手できるのは熱帯の磯魚のほか、アカムツ、フェダイ、カマス、アジ、マグロである。ロブスターもときどき大型スーパーマーケットに出回る。ヤシガニが市場に並ぶこともある。

<乳製品>

オーストラリア製、フランス製のチーズなどの乳製品が豊富で、ヨーグルト(国産)も常時入手できる。ロングライフの牛乳はどこでも手に入る。

<調味料>

日本食の入手は大変困難である。しょうゆ、化学調味料程度しか入手できない。みりんはごくたまに手に入る。オーストラリア、中国などの外国製の各種調味料やスパイス類は大型スーパーマーケットでだいたい入手できる。

<食用油>

コーン油、サラダ油、オリーブ油などすべて輸入品である。

<飲料水>

水道水はそのままでも飲めるが、硬水である。ミネラルウォーターが大型スー

パーや中国系の店で入手できる。雨水も煮沸すれば飲料水になる。

(3)食料の入手

日本食品専門の販売店はない。のり、シイタケはときどきスーパーマーケットで入手できる。

赴任後に食品などを郵送する場合、経由地のオーストラリアで検疫のため没収されることがある。また、商品価格が1万バツを超えたり、ミカン箱以上の大きな箱に入っていると、通関手続きが必要になる。



代表的なスーパーマーケットには以下がある。スーパーマーケット

- ・Au Bon Marche

4-3 食器、調理器具

(1)食器、調理器具などの入手

冷蔵庫、トースター(ポップアップ式のみでオーブントースターはない)、ミキサーなどの電化製品は入手できる。洋包丁、鍋、フライパン、皿、中国食器、コップ、フォーク、スプーンなど食器類も入手可能である。

食器、調理器具を入手できる店には以下がある。

 Yellow Page ・Fung Kuei(フンケイ)

(2)日本から持参したほうがよい食器、調理器具


オーブントースター、和包丁(刺し身包丁、出刃包丁)、はし(中国製のものは入手可能)、おろし金、すり鉢、すりこぎなどである。

5. 生活用品の購入 5-1 家電製品



一般的なものはだいたい入手可能。日本、オーストラリアのメーカーのものが多い。


家電製品を購入できる店には以下がある(詳細はイエローページを参照)。

 Yellow Page ・Fung Kuei(フンケイ)
・Sharper Image(シャーパー・イメージ)

5-2 家具

家財道具の購入は可能であるが、品数が限られており、オーダーしないと必要な家具の入手は難しい。

家具を購入、オーダーできる店には以下がある。

 Yellow Page ・Melanesian Furniture
・Vanuatu Creation Market


5-3 日用品、雑貨

日用品などについては首都とルーガンビル以外では購入が困難である。日用品、雑貨を購入できる店には以下がある。

 Yellow Page ・Au Bon Marche

5-4 工具、素材

ポートビラとルーガンビル以外では入手が難しい。工具、素材などを購入できる店には以下がある。

 Yellow Page ・Wilco Hardware

6. 金融機関




6-1 金融機関

(1) 銀行

オーストラリア系の銀行が入っており、外国人でも外貨口座、現地通貨口座の両方を持つことができる。また、24時間自動出金サービスやデビットカードのサービスもある。

日本人がよく利用する主な銀行は次のとおり
(詳細はイエローページを参照)。

 Yellow Page ・Westpac Bank
・ANZ Bank



ANZ銀行のATM

(2) 口座の開設と閉鎖

外貨普通預金口座、現地普通通貨預金口座、当座預金口座などの利用が可能。銀行口座の開設・閉鎖に関しては、当座預金口座以外は即日でも可能であるが、コンピューターの故障により即日処理が不可能なこともあるため、余裕をもって行うほうがよい。当座預金の閉鎖に関しては、銀行により異なるが、最低3週間前に通知が必要である。

(3) 小切手

一部の外国人は、小切手を日常の買い物の際にも利用している。当座預金口座を開設してからの利用となる。

(4) 換金方法

すべての銀行で日本円、米ドルなどのトラベラーズチェックおよび現金の両替が可能。換金場所は銀行、空港内の両替所、民間の両替商(土曜も可能)がある。

6-2 クレジットカード

多くのホテルではクレジットカードの利用が可能であるが、一部のスーパーや商店では利用できないため、事前に確認したほうがよい。VISA、MasterCardなどが一般的である。銀行のATMからの現金引き出しは可能である。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

タクシーは首都市内や空港には多い。メーター式もあるが、一般にメーター式のほうが料金が高く、なかには通常の数倍の料金を表示するものもある。メーターなしのタクシーは、乗る前に価格交渉しておいたほうがよい。



市内バス

また、市内バス(ナンバープレートに“B”と記載)

も多く通っている。このバスには決まった行き先がなく、客の希望でポートビラ内ならどこへでも連れて行ってくれる。料金は市内100バツ一均一である。

道路はあちこちに穴があいているので、自分で運転するには注意が必要である。舗装されている地域は市街を中心に15kmほどしかなく、残りはすべて未舗装路である。

また、ほかの島へは、国内線の航空機を利用する。

(2) 空港から市内への移動

タクシーまたは市内バスである。タクシーでは10分程度。バスは乗客によってコースが変わるため、10～30分。料金は、タクシー1000バツ一(公定料金)、バス100バツ一。

(3) 自家用車を利用する場合

首都ポートビラのあるエファテ島には、1周約140kmの道路があるが、郊外はすべて未舗装路のため、運転には注意が必要である。ポートビラ市内でも信号機はなく、交差点はロータリーになっているが、優先道路がわかりにくく、現地の人の間でも混乱しているため、注意が必要である。

(4) レンタカーなどを利用する場合

ポートビラにはBudget、AVIS、Discount Rentalなどのレンタカー・ショップがあり、日本車を中心に選べる。費用は走行距離により異なるが、「カローラ」クラスで、1日5600バツ一(1週間以上借りる場合では、1日あたり4000バツ一)程度である。そのほか、保険料やガソリン代が加わる。

レンタカー会社は次のとおり(詳細はイエローページを参照)。



- ・Budget
- ・AVIS
- ・Discount Rental

(5) 地図

正式な道路地図はない。エファテ島全体、または市街地だけの観光地図は、書店、またはホテルで購入が可能である。観光局でも無料で入手できる。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

小さな接触事故などは示談で済むが、人身事故、大事故の場合は負傷者を

病院へ運ぶと同時に警察(電話 :22222)を呼び、調書を作成してもらうこと。

(2) 救急病院

緊急時には救急車も手配してもらえらる。救急病院はポートビラのセントラル・ホスピタル(Vila Central Hospital :詳細はイエローページ「13.医療機関」参照)のみであるが、重篤なケースには対応できない。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

自動車自体の盗難は少ないが、車上荒らしは最近増える傾向にあるので、車を離れる時にはドアロックを忘れないこと。また、自転車の盗難は多い。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

車両は右側走行、左ハンドルである。信号機は1つもなく、大きな交差点はロータリーになっているが、優先順位がわかりにくく、走行には注意が必要である。

(2) 罰金、罰則

毎年3月末に実施される自動車税納入確認のための取り締まり以外では、事故などを起こさない限り、警察に呼び止められることはない。違反は駐車違反がほとんどで、誰かが訴えない限り、摘発はされない。この場合の罰金は5000バツである。たまに、市内の横断歩道で、通行人の歩行を妨害した場合に、1万バツの罰金を科せられることがある。

7-4 車の修理

(1) 部品

日本車が8割以上を占めており、特にトヨタ、三菱に関しては部品の在庫もある。

(2) 修理工場

トヨタに関しては代理店が修理工場を備えている。そのほか、個人経営の修理工場も多い。部品によってはオーストラリアから取り寄せなければならない場合があるので、修理にかなりの日数が必要になることもある。

主な修理工場には以下がある。

Yellow Page ・Bodiam Engineering

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

ポートビラおよびブルーガンビル周辺を中心に電話は普及している。近年はその他の離島でも普及し始めているが、離島での開設には年単位を要することが多い。

携帯電話および固定電話の新設はテレコム・バヌアツに申し込む(詳細はイエローページを参照)。

・Telecom Vanuatu Limited(テレコム・バヌアツ)

(2)国内電話

国内はダイヤル直通(アナログ回線)で、固定電話でも2分40バツ、携帯電話で2分40バツである。

(3)国際電話

国際電話もダイヤル直通通話が可能である。以前あった預かり金の制度も廃止されている。料金は日本まで1分で216バツであり、夜間(20:00~6:00)および日・祝日は2割引となる。

(4)携帯電話

携帯電話はポートビラ、ルーガンビル、ノルスップ(マラクラ島)で利用可能。申し込みと同時に利用できる。携帯電話も上記テレコム・バヌアツに申し込む。



公衆電話

8-2 電信

(1)ファクシミリ

電話料金と同じである。

(2)テレックス

現在では使用されていない。

(3)電報

現在サービスは廃止されている。

(4)インターネット

テレコム・バヌアツが唯一のプロバイダーである。通信速度は48~56kbps(回線によって違いあり)。最近、ISDNも利用できるようになった。モジュージャックは日本のものと同様。そのほか詳細については、Telecom Vanuatu Limited(テレコム・バヌアツ)のホームページを参照。



インターネットカフェ

8-3 郵便

(1)一般事情

中央郵便局はポートビラ市街中央にあり、平日および土曜日の午前中にサービスが受けられる。宅配制度はなく、すべて私書箱またはメール・バッグ方式で行われている。私書箱は容量に制限があるが、空いていれば申し込んですぐ開設できる。

日本からの郵便はすべてオーストラリア経由である。一般的に、日本からは航空便で2週間ほどかかる。



中央郵便局



・中央郵便局

(2)課税

日本からの郵便小包は、中央郵便局の中にある税関の窓口で受け取る。小さなもの、軽いもの、安価なものを除き、課税される。

(3)国際宅配サービス

DHL、FedExなどの代理店があり利用可能。



・DHL

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1)調達の方法

英語版のWindows機およびMacintosh機ともに入手可能。ただし、オーストラリアからの取り寄せとなることが多いので、入手まで時間がかかる。プリンターなどの周辺機器も入手可能である。日本語ソフトは通常販売されておらず、入手には手間がかかる。

(2)使用の際の注意

スタビライザーはあるほうがよい。信頼のおける店で購入すれば、確かなソフトをインストールしてくれる。インターネットプロバイダーは1社(テレコム・バヌアツ)があるが、ウイルス対策は万全ではなく、よく感染しているため、各自で必ずウイルス対策を行わなければならない。

(3)修理

コンピューター本体、周辺機器の修理は以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。



・PAC TEC

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1)就業時間

一般的には、就業時間は7:30~11:30、13:30~16:30、昼休みは11:30~13:30である。

(2)有給休暇

年間21日程度。

(3)執務室

ポートビラではエアコンが完備されていることもある。

(4)通勤事情

バス、自家用車による通勤が可能。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

ポートビラ・バウアフィールド国際空港には、両替所、免税店がある。小さなビルのため、到着・出発フロア、タクシー・バス乗り場などすべて1階にある。

(2) 入国手続き書類

入国カード、動植物検疫カード、パスポート、帰りの航空券の提示を求められる。ふつうは帰りの航空券が必要。

(3) 入国審査

訪問の目的または滞在期間を尋ねられるが、通常問題がなければ1カ月のビザが出るので、その後イミグレーションオフィスへ行き1カ月の延長を申請する。3回まで延長更新ができ、最高4カ月間まで滞在できる。

(4) 税関検査

麻薬、銃器はもちろんのこと、動物、植物の持ち込みも厳しく、没収されることがある。段ボールの荷物は、たいてい開けられる。身の回り品以外に、1人2万バツまでの品物の持ち込みが許されているが、検査は厳しい。

ポルノ雑誌、ポルノビデオの持ち込みは厳しく禁止されており、日本の一般週刊誌や雑誌でもポルノと判定されれば、裁判に付されて8万円程度の罰金刑または懲役になる。大量のポルノビデオの持ち込みで100万円以上の罰金刑に処せられた日本人のケースもあり、注意を要する。

(5) 空港内での留意点

荷物の盗難はめったにないが、注意は必要である。盗難が起きた場合はターミナル・セキュリティーに連絡すること。病気の時もセキュリティーに連絡すると便宜を図ってくれる。

(6) 空港からの主な交通手段

空港から街の中心地までは約5kmで、料金はバスで100バツ、タクシーでは1000バツである。そのほか、ホテルの送迎用バスもある。

(7) その他の留意点

ポートビラの国際空港には両替所があり、土・日曜日でも国際線発着前後にはオープンする。週末や夜には便利であるが、レートは悪い。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

出国は1枚の小さな用紙に記入するだけで、簡単なもの。荷物検査も通常の空港で行われるX線によるものである。

(2) リコンファーム

カンタス航空以外は出発の72時間前までにリコンファームが必要である。

(3) チェックイン

通常、2時間前から可能。30分前に閉められる。

(4) 空港利用税

空港使用料(2800バツ)は通常、航空券代に含まれている。

(5) その他の留意点

ビザの有効期限内なら何回でも再入国できるが、旅行者は年間滞在日数が4カ月までである。また、動植物検疫に関係するものを持ち出すためにはクアランティン(検疫所)の許可を受けなければならない。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

パスポート、出国カードのみで、予防接種などは必要ない。ビザの期限が切れてからの出国は厳しいので、帰国日程に変更があるときは、あらかじめビザの延長手続きが必要である。

(2) 車の処分

外国人がよい値で売れる買い手を見つけるのは容易ではない。大半は出国までになかなか売れず、大幅な値下げをして処分している。中古車を扱っている会社は少なく、個人交渉が大半である。

ガバメントハウス(政府庁舎)の交通課で、転売用の書類に売り手と買い手のサインをし、所有権移転の手続きをする。転売額の5%を税として納入する。

(3) 家財道具の処分

家財道具を持ち帰る場合は、梱包・輸送する会社に委託する。バヌアツで処分するときは、ガレージセールをして売りさばくことができる。輸送会社は次のとおり(詳細はイエローページ「20.国際宅配サービス」を参照)。



・DHL

(4) 住宅の明け渡し

借家を明け渡すときには、通常2カ月前までに直接家主か不動産会社を通じ、書面で通知しなければならない。なお、家主か不動産会社の立ち会いのもとで家具、備え付けの装置、家屋の状態をチェックし、問題がなければ、デポジット(通常は家賃1カ月分)の全額または80%、修理箇所があればその費用を差し引いて返納してもらえる。

(5) 外貨持ち出し規制

外貨の持ち出しには制限がない。送金手続きは、銀行で所定の書類に記入すれば問題なく行ってもらえる。手数料は電信送金では2500バツ。ただし、日本の銀行に送金した場合は、さらに日本の銀行がより高額な手数料をとるため注意が必要。

12. 治安、 緊急時の心得



※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

1999年1月、国民年金基金の用途不明金をめぐって3日間暴動が発生した。その後は落ち着いているが、社会状況により暴動、騒動が起こる可能性がある。

(2) 対処法

JICAバヌアツ駐在員事務所経由でフィジー大使館・JICA本部へ、電話、ファクシミリ、衛星電話などで連絡できる緊急時連絡網がある。青年海外協力隊員が配置されている島には、無線機が設置されている。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

バヌアツは治安が比較的良好、強盗は少ないが、近年は空き巣や性犯罪が急増している。日本人の被害の状況は貴金属類、現金類、家電製品、食品類、衣類の盗難が主である。

(2) 住宅の防犯対策

首都の青年海外協力隊の女性隊員宅ではガードマンを雇っている。外国人居住者もガードマンを雇う人が急増している。そのほか犬を飼っていることも多い。警報装置の設置も近年増加しており、外国人住居では窓に防犯用ネットが入っているところが多い。

(3) 市中での防犯対策

- ・夜間一人歩きをしない。
- ・夜間女性一人でバスやタクシーに乗らない。
- ・泥酔者に近づかない。
- ・給料日にあたる金曜日の夜は外出をしない。

(4) 注意すべき場所、危険地域

バーなどのアルコールの飲酒を主目的とした店。また、首都の週末夜間は酩酊者も多く、かかわると傷害事件に発展することもある。

(5) 被害時の心得

性犯罪に遭遇した時やアルコールによる酩酊者に絡まれた際は、走って逃げるしかない。携帯アラームの所持を勧める。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

バヌアツで起こる災害で一番ダメージが大きいのが、サイクロン(12~4月)であり、電気、水道、電話が使えなくなる。その上、食料も購入しにくくなる。火災はほとんどないが、7~8月ごろにブッシュを焼くため、残り火が家屋に移ることがある。また、バヌアツは活火山帯にあるため、地震が多く、津波も発生することもある。

(2) 防災対策

家屋の窓はルーバー式のものが多く、すき間から風雨が入るため、サイクロン対策として、窓にはサイクロンシャッター(雨戸)をつけることが望ましい。また、水や食料品、ろうソクを前もって購入しておく。

災害保険は規定が厳しくなり、保険会社指定のサイクロン・プルーフ(被害報告書)でなければ保険がおりなくなっている。

(3) 被災時の心得

サイクロンが発生すると、ラジオで24時間態勢で気象情報を流すので、これを利用し、情報を的確に把握することが必要。電話、電気の復旧は比較的早い。

12-4 緊急連絡先電話番号

・在フィジー日本大使館 :+679(フィジー国番号)-3304-633

・警察 :22222

・消防 :22333

・救急車 :112

13. 社交



13-1 風俗習慣

バヌアツの人はメラネシア系が大半を占めるが、大小さまざまな島で構成され、言語も100以上あるため、地方ごとに異なった風俗習慣がある。しかし、カヴァを飲む習慣はどの地方でも共通である。カヴァは、コショウ科のカヴァといわれる木の根を掘り出し、それをたたいて汁を出し、少量の水と混ぜたもので、濁った黄土色をしている。これをココナツの実で作ったコップで一気に飲みほす。バヌアツのカヴァは特に濃く、飲むと倒れることもあるので無理をして飲む必要はない。宗教上の理由などで現地の人でも飲まない人が少しずつ増えている。飲むとしても、1~2杯で止めておくのが賢明である。

なお、多くの人キリスト教徒で、土曜日または日曜日には教会へ行く。日曜日にカヴァを飲むことを禁止している地域も多い。

13-2 パーティーでの留意点

どこの国でも同じであるが、パーティーの席などでは、宗教や政治問題についての意見は控えるほうがよい。

13-3 来客時の留意点

夜遅くなるとバス、タクシーがなかなかこないなので、バスなどで来た客は、送っていく必要がある。

13-4 訪問時の留意点

個人の家を訪ねられたときは、服装はきれいな普段着でよく、ふだんより特に

心がけることはない。招待された時は、ワインかチョコレートなどを少し持参する程度でよい。結婚式への招待でもプレゼントは高価な品物である必要はなく、生活用品でもよい。

13-5 禁止されている言動(タブー)

常識ある行動をとれば特に問題になることは何もない。しかし、ポートビラなどでは、西洋式の風習が行き渡っているので、日本にいる時以上に日常のささいな行動(他人を前後に確認してからドアの開け閉めをする、道をお互いに譲り合い身体が触れるのを避けるなど)にも注意する必要がある。

現地の一般の人はタバコを好むが、ほとんどの事務所は禁煙になっているので、注意しなければならない。

13-6 日本人会

組織化されていないが、JICA関係者以外には日本人約20人が在住している。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

2006年4月現在、約260人の会員がいる。

13-8 現地の人々との交流

個人的に交流の機会をもつほかは、バヌアツ人と外国人との生活にはかなりの差があり、交流の機会は少ない。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

日本の小学校に相当するプライマリースクールは6年間で、中・高校に相当するのが6年間のセカンダリースクール、カレッジである(学制を改変中で小学校が8年程度になる)。また、南太平洋大学(USP)の分校が唯一の大学である。

プライマリースクールへは、その年の初めに、満6歳に達した子供が入学するが、それ以外の年齢でも入学しているケースは多い。学校は英語系、フランス語系に分かれているが、教育水準はオセアニアの周辺国と比較しても高いとはいえない。

なお、フランス系の学校のほうが一般にレベルが高い。

(2) 日本人学校

日本人が少ないため、日本人学校はない。日本人子弟はインターナショナルスクールに通うケースが多い。

子弟の教育については海外子女教育振興財団に問い合わせるとよい。

<海外子女教育振興財団>

URL :http://www.joes.or.jp/

E-mail :service@joes.or.jp

受付時間 :9:30~17:30(月~金曜日、祝日・年末年始を除く)

・東京

住所 :〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

電話 :03-4330-1349

FAX :03-4330-1355

・関西分室

住所 :〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル
2階

電話 :06-6344-4318

FAX :06-6344-4328

(3)現地校、外国人学校



現地校には英語系とフランス語系がある。ほかにインターナショナルスクール(私立)が英語系およびフランス語系、それぞれ1校ある(詳細はイエローページを参照)が、フランス語系インターナショナルスクールのほうのレベルが断然高い。学校から入学に必要な書類をもらい、必要事項を書き入れ、入学願書を提出する。新学期は2月上旬から始まる。通学手段としては、徒歩のほか、バス、タクシーを利用している。

学期は3学期に分かれており、学期ごとに2週間ほどの休みがある。

・Ecole Francaise(エコール・フランセイズ)



・Port Vila International School(ポートビラ・インターナショナル・スクール)

(4)幼稚園

私立幼稚園がある。幼稚園の選択は、在留日本人や在留外国人に相談するのがよい。

期間は1~2年間と決まっている。新学期は2月上旬から始まる。登録に関しては、人数が多いため、3月ごろから翌年度の受け付けが行われる。空席があれば途中入園も可能で、園によっては2歳からでも預かってくれる。

・Port Vila Kindergarten(ポートビラ・キンダーガーデン)

14-2 教育関係施設

(1)図書館など

ポートビラ市内に図書館が1館あり、誰でも閲覧できるが、本の貸し出しには規制がある。JICA事務所には日本の本があり、利用が可能である。

図書館は次のとおり。



・National Library



図書館

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

ふつうの家庭の使用人は、家事全般の手伝いをするメイド(ハウスガールと呼ばれる)と、家の周り・庭などを手入れするガーデナーである。求職者が多いため雇用は容易である。運転手は政府高官以外に、雇用している人はいない。

契約書は必ずしも必要ではないが、事後のトラブルを避けるために取り交わすことを勧める。

報酬は2週間ごとに支払うのが一般的である。国民年金の雇用主負担があるので、国民年金基金事務所での手続きが必要である。

長年勤めた場合には、退職時には退職金に類するものを支払うのが一般的である。

15-2 運転手

(1) 雇用

一般に、運転手を雇うことはない。雇用しているのは外国大使、領事、またはバヌアツ政府の高官ぐらいである。

(2) 日常管理

該当情報なし。

(3) 教育指導

該当情報なし。

(4) その他の留意点

該当情報なし。

15-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

借用する住宅の規模、家族構成にもよるが、外国人家庭では、メイド(ハウスガール)を1人以上雇用していることが多い。一般的にはハウスガールは料理や給仕はせず、食器洗い、洗濯、部屋の掃除などである。子守などは別にベビーシッターを頼むことがあるが、仕事の範囲は雇用時の条件により異なる。

(2) 雇用

知人の紹介や志願者のうちから雇うことになるが、トラブルが多いので、身元のはっきりした人を知人から紹介してもらうほうが望ましい。雇用契約書は必ずしも必要ではないが、雇用時に契約書を作成して相互に内容を確認しておくのがよい。口頭で雇用条件を言い渡しただけでは問題が起きることがある。

雇用主は、支払額が毎月3000バツを超えるようなら、メイドを雇用したことをナショナル・プロヴィデント・ファンド(国民年金基金)に届け出なければならない。また、ファンドから請求書が送付されてきたら、給与の8%(事業主4%、労働者4%)を雇用保険として、雇用主が払い込まなければならない。

賃金は法定の最低賃金をベースにした時間給または日給契約になる。最低賃金は、20,000バツ/月(2006年現在)である。支払いは週末、または隔週(2回/

月)で、契約条件による。半日雇用の場合の時間給は180バツ、全日(7:00～16:30)の場合の日給は、1200バツ程度になる。休日は土・日・祝祭日である。ボーナスの習慣はないが、クリスマスやイースターなどには、週給くらいの小遣いまたは物品をプレゼントするのが一般的である。パーティーなどで夜遅くなったときなどは、交通手段がないため、家まで送っていくことが多い。試用期間は1カ月。

サーバント・クォーター(使用人部屋)のある家はまれで、ほとんどが通いである。

(3) 日常管理

アクセサリー、電池を使用する電気製品などの小物が紛失することがあり、家内の器具類の所在を常に注意しておく必要がある。食料、電話に関しては、無断使用する人もいるので、気をつける必要がある。あまり回数が多い場合は事前に警告し、解雇する。この場合は、労働組合が介入して收拾がつかなくなったり、納得のいかない解雇手当の支払いを要求されることもあるので、契約書に雇用、解雇条件を明確にしておくことが望ましい。

15-4 庭師、ガードマン

家政婦／夫と同様、知人の紹介または志願者のうちから選ぶ。賃金もメイドと同じ程度でよい。退職金などに関してはハウスガール同様、慣習上長年勤めた人に対しては、約2カ月分の給料を払うのが一般的である。借家を借りる際に、庭の維持は家主の責任とすることで、庭師を直接雇わないで済ませることもできる。バヌアツは治安が悪くなっており、一般家庭でもガードマンを雇っていたり、アラームシステムを設置していたりするようになった。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

主な新聞として「ジ・インディペンデント(土曜日発行)」(英語、フランス語、ビスラマ語)と「デイリー・ポスト(火～土曜日発行)」(英語)があり、1部100バツである。街角に立つ新聞売りの少年のほかスーパーマーケットや中国系の店で購入可能である。

(2) 日本の日刊紙

現地では購入不可能である。

(3) 欧米紙／誌

定期的に欧米紙やオーストラリア、ニュージーランド紙が書店で入手できる。宅配制度はない。

(4) 日本の雑誌、書籍

日本の書籍が購入できる書店はない。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

AMとFMの放送局がある。AMのラジオバヌアツの周波数はMWバンド1125kHz、FMは98MHzである。そのほか短波でも放送しているが、放送内容はAMと同一である。放送は、ビスラマ語、英語、フランス語である。

(2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

ラジオに備え付けのアンテナではうまく短波を受信できないので、簡単な外部アンテナの使用を勧める。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111 (平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から : 0570-066066 (NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

E-mail : nhkworld@nhk.jp

<周波数表、番組表の入手>

URL : http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html

(周波数表、番組表確認)

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号260

(日本語放送の周波数表・番組表FAX サービス)

郵送 : 上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3) 聴取可能なその他の外国放送

オーストラリア放送が周波数17.795MHz、BBCが15.160MHz (FM国際放送は99MHz、24時間) で聴取できる。そのほか、VOAなどは受信可能である。

16-3 テレビ

(1) 地上波放送局

テレビ局が1チャンネルあり、フランス、イギリス、ニュージーランド製のドラマや映画、ニュースを6:00から23:00ごろまで放映している。

(2) 衛星放送、ケーブルテレビなど

衛星放送受信用のアンテナを設置し、チューナーを購入すればNHKワールドテレビが受信できる。

そのほかTelsat (英語) LBF (主にフランス語) などの有料放送がある。

<NHKワールドTV問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111

(平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から : 0570-066066

(NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

E-mail :nhkworld@nhk.jp

<番組表の入手>

URL :http://www.nhk.or.jp/nhkworld/

(週間番組表確認)

FAX :+81-3-5454-0888 情報番号258

(週間番組表FAXサービス)

(3)テレビ受信

現地のテレビ・ビデオは、日本のNTSCとは異なり、PAL方式である。マルチタイプは現地で購入できる。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



17-1 スポーツ

(1)ゴルフ

ポートビラには、18ホールを有するゴルフコースは一つしかない。(詳細はイエローページを参照)。

Yellow Page

・Port Vila Golf & Country Club(ポートビラ・カントリークラブ)

(2)テニス、フィットネス

ホテルの施設を利用する日本人が多い。

Yellow Page

・Plei Plei Club(プレプレクラブ)

(3)その他のスポーツ

ダイビングをする日本人が多い。

17-2 趣味

特になし。

17-3 語学学習

(1)語学学習施設

南太平洋大学が一般公開講座として英語学講座を設けているほか、フランス文化館がフランス語の語学講座を開いている。

日本語での語学講座はなく、英語・フランス語での受講となる。

Yellow Page

・The University of the South Pacific :USP(南太平洋大学)

(2)家庭教師

家庭教師による語学学習も可能ではあるが、紹介所などはなく、知人の紹介などによって教師を見つけることになる。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

国内旅行に関しては、特に規制はない。地方のほうが比較的治安がよいが、空き巣に注意する必要がある。

ポートビラおよび州都以外は電力が供給されていないが、地方の主要なリゾートホテルは自家発電装置を備えているので、電気器具(240V)の使用は可能である。

バヌアツの観光は、主として伝統的なダンス、古来の生活様式などの見学と、コバルトブルーの海でのレジャー、スポーツである。

離島へは航空便が定期的に通っているが、航空運賃は日本に比べかなり高い。また船もあるが不定期である上、衛生上の問題もあり、現地の人以上が乗ることはほとんどない。

特に離島に出かける際には、蚊によるマラリア感染の恐れがあるので、予防薬や蚊よけスプレー、クリームを持参する必要がある。なお、観光から帰った直後の発熱はマラリア感染の恐れもあるので、素人判断をせずに必ず専門医の診察を受けることが必要である。

18-2 主要観光地・保養地

<ポートビラ(エファテ島)>

エファテ島のポートビラは首都であり、リゾートホテルも多い。総合リゾートホテルもメリディアンとラゴンの2軒ある。これらのホテルはいずれもプライベート・ビーチを所有しており、ゴルフ、テニス、ボート、ヨット、シュノーケリング、水泳などが楽しめる。

首都周辺にもダイビング、シュノーケリングのポイントが点在しているが、島の反対側まで行くときれいなビーチがある。また、首都から日帰りできる範囲で観光用の伝統集落もあり、バヌアツ風俗の紹介もしてくれる。

また、首都から車で20分ほど行ったところにはハイダウエイ島があり、ダイビングやシュノーケリングを楽しめる。また、ハイダウエイ島の近くには多くの滝が集まった「カスケードの滝」があり、泳ぐこともできる。

<サント島>

熱帯特有のきれいなサンゴ礁に囲まれており、ダイビング、シュノーケリングのポイントが多い。豪華客船クーリッジが沈んだ場所は世界的に有名なダイビングスポットで、日本のダイバーあこがれの地である。しかし観光開発は進んでおらず、観光客の泊まる施設はホテル・サントとデコストップくらいで、施設の整ったホテルはあまりない。

<タンナ島>

活火山ヤスールと草原のある島である。火山ツアーは夕方に出発し、夜空を焦がす噴火の様子を見ることができる。ホテルはホワイトグラス・リゾートホテルがある。同ホテルにはきれいなビーチがあるほか、火山ツアーのアレンジもしてくれる。

<そのほかの離島>

そのほか観光名所としてはランドダイビング(バンジージャンプ)で有名なペントコスト島がある。ランドダイビングは4月の後半から5月いっぱいにかけて行われ、首都からは日帰りのツアーが企画される。

18-3 旅行代理店

ポートビラの主な国内観光エージェントは以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。



・Tamaso Alliat Wi Tours(タマソ・ツアー)

・South Pacific Tours(サウスパシフィック・ツアーズ)

ポートビラで海外、国内の航空券を扱っている航空会社、旅行代理店は以下のとおり。

海外の航空料金は航空会社によって料金が異なるので、数軒にあたるほうがよい。



・Aircalin(エアーカリン)

・Air Vanuatu(エアー・バヌアツ)

・Tamaso Alliat Wi Tours(タマソ・ツアー)

19. 私財の輸送、 引き取り、購入



19-1 家財道具

(1) 輸送業者

ポートビラには、陸・海・空の輸送会社が数社ある。主なものは次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。

・DHL

・Vila Agent

(2) 輸入手続き

輸入手続きから運送までを行う代理店が数社ある。これらの代理店に頼むと簡単であるが、手数料がかかる。個人で行うには、カスタム・クリアランス・フォームに必要事項を書き入れ、関税を支払って荷物を引き取る。ただし、手続きは煩雑であり、手続きに時間がかかる間に倉庫料が増えてしまうため、通常は代理店に依頼する。アナカン(別送航空便)は、3~4日で引き取り可能である。

(3) 輸入貨物の受け取り港

ポートビラあるいはルーガンビルに到着する。

19-2 自動車

(1) 一般状況

自動車の輸入は可能である。中古車は検疫で問題になることがあるので、輸入しないほうがよい。また、右ハンドル車は原則として輸入を許可されない。バヌアツにはトヨタ、三菱、スズキの代理店があり、現地での購入も容易である。三菱、

トヨタに関しては部品が豊富である。代理店は下記のとおりである。



- ・Asco Motors(アスコ・モーター)
- ・Intraco(インタラッコ)

(2) 輸入手続き

新車を輸入する時は、インボイスとFOB(船積み前の価格)の料金の記載された書類が必要となる。どうしても中古車を持ち込みたい場合は、事前に関係機関によく確認をしておかなければ陸揚げの許可を得られないので、注意が必要である。

日本からの輸入には3~6カ月の期間を要する。

(3) 現地での購入

新車の場合、通常は上記(1)の代理店を通して輸入する。価格は日本の2倍程度。中古車は、程度のよいもので100万~200万バツの範囲で購入できる。購入方法はディーラーからが最も便利である。

(4) 自動車登録

登録に必要な書類は販売店で揃えてくれる。登録を完了し、ナンバープレートを手にするには1週間ほど必要である。その間は仮ナンバーで運転できる。費用は約2万バツである。

(5) 免許証取得

日本の免許証を警察署に提出し、証明を受け、税務署の交通課に持参すれば、その場で発給してもらえる。手数料は用紙代込みで4000バツ、ほかに写真3枚が必要である。

(6) 保険、税金

保険会社はQBE、Australian Familyなど、数社ある。車の保険としては総合保険が望ましい。

保険料は保証の度合いにより異なるが、一般に乗用車(1300ccの「カローラ」クラス)で初回7万8000バツ、次回より割安になる。

税金に関しては毎年支払うのは自動車税だけで、1500ccクラスで年間1万7000バツを1~3月中に払い、ステッカーを車の前面に貼らなければならない。4月に入ると、25%増しになる。自動車税の支払い時、保険に加入している証明を求められる。車検は年1回。

20. 地方都市



通常、JICA専門家が首都ポートビラ以外の場所に長期滞在することはない。

イエローページ

*特に記載のない限り、バヌアツ駐在員 事務所のあるポートビラの情報が中心になっています。

1. JICA 事務所 (バヌアツ駐在員 事務所)

所在地 Pierre Lamv Street, Port Vila, Vanuatu
 TEL/FAX TEL: +678-23546/24254/25752 FAX: +678-22818
 URL/E-mail URL: <http://www.iica.go.jp/vanuatu/index.html> E-mail: iicava@iica.go.jp

2. 日本大使館

所在地 2nd Floor, Dominion House, 1 Suva, Fiii (在フィジー大使館: バヌアツ兼轄)
 TEL/FAX TEL: +679 (フィジー国番号)-330-4633 FAX: +679-330-2984

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館 TEL: +679 (フィジー国番号)-330-4633 (在フィジー大使館: バヌアツ兼轄)
 警察 TEL: 22222
 消防 TEL: 22333
 救急車 TEL: 112

4. ホテル

■ Le Meridien (メリディアン)

Tassiriki
 TEL: 22040 FAX: 23340
 URL: <http://www.lemeridien-portvila.com>
 E-mail: meridien@vanuatu.com.vu
 料金: 該当情報なし。
 American Express, Diners Club, Eurocard, VISA, MasterCard, JCB など
 ゴルフコースも擁する総合リゾートホテル。

■ Le Lagon (ラゴン)

Elluku
 TEL: 22313 FAX: 23817
 料金: 該当情報なし。
 VISA, MasterCard など
 旧 Crown Plaza。ゴルフコースも擁する総合リゾートホテル。

■ Hotel Olympic (オリンピック)

Town
 TEL: 22464 FAX: 22953
 E-mail: olympichotel@vanuatu.com.vu
 料金: 該当情報なし。
 American Express, VISA, MasterCard など
 ポートビラ市街地内にある。長期滞在割引あり。

■ The Melanesian (メラネシアン)

Nambatu
 TEL: 22150 FAX: 22678
 E-mail: melanesian@vanuatu.com.vu
 料金: 該当情報なし。
 VISA, MasterCard など
 長期滞在可能。台所設備の備わった部屋もある。廉価な部屋は扇風機のみ。24時間レストランあり。ポートビラ市街地まで歩いて10分。

■ Kaiviti Village Motel (カイヴィティ)

Nambatu
 TEL: 24684 FAX: 24685
 E-mail: kaiviti@vanuatu.com.vu
 料金: 該当情報なし。
 VISA, MasterCard など
 一部の部屋を除きエアコンはない。台所設備のある部屋がある。ポートビラ市街地まで歩いて10分。

5. 不動産会社

■ Alliance Realty (アリアンス・リアリティ)

Town
 TEL: 26600 FAX: 24683

■ Caillard Kaddour (カイラード・カドール)

Town
 TEL: 22629 FAX: 22502

■Island Property(アイランド・プロパティ)
Town
TEL:24630 FAX:24628

6.電力・水道会社

■UNELCO Rue Winston Churchill, BP 26, Port Vila
TEL:22211

7.美容院

■Head Hunter Salon
Town
TEL:22768

8.レストラン

<中国料理>

■Bamboo Royal(バンブー・ロイヤル)
Town
TEL:22510

2006年6月現在、休業中

■Harbourview Chinese Restaurant(ハーバービュー)

Melkofe
TEL:23668

ポートビラ湾が一望できる。全体に日本人向きの薄味。

<フランス料理>

■Vila Chaumieres(ヴィラ・シュミエール)

2nd Lagoon
TEL:22866 FAX:24238

ラグーンの上(水上)にレストランがある。

■Le Café de Village(カフェ・ド・ヴィラージュ)

Town
TEL:27789

海に面しているレストラン。

■Tropic Bistro(トロピック・ビストロ)

Nambatu
TEL:26484 FAX:26485

ディナーのみの営業。

■Harbourside Bar & Bistro(ハーバーサイド・カフェ)

ポートビラ市街南端
TEL:26155 FAX:23366

夕方 19:00 までに行くと、廉価なコースあり。

<その他西洋料理>

■Waterfront Bar & Grill(ウォーターフロント)

Town
TEL:23490 FAX:24035

海に面したレストラン。

<ジビエ料理>

■L'Houstalet(ル・スタレ)

Nambatu
TEL:22303

フランス料理のほかフルーツパット(コウモリ)、ハトなどが供される。フランス大使館関係者がよく利用している。

<ピザ・軽食>

■La Pizzeria(ラ・ピザーラ)

Nambatu
TEL:24763

ピザのほか、T ボーンステーキが有名。

<日本料理>

■Kanpai Bar & Sushi Japanese Restaurant

唯一の日本料理店。(2006年6月現在、移転改装中)

9.スーパーマーケット

■Au Bon Marche

Nambatu, Manpleisu, Town

TEL:27142 FAX:22576

7:00~19:30(Town店は21:00まで。店舗により異なる)

バナアツで最も大きなスーパー。

10. 食器、調理器具、家電製品

■Fung Kuei(フンケイ)

town

TEL:22556 FAX:23688

免税販売も行っている。

■Sharper Image(シャーパー・イメージ)

Town

TEL:24906 FAX:24872

事務用品も販売している。

11.家具

■Melanesian Furniture

Nambatu

TEL:23640 FAX:23640

オーダーショップ

■Vanuatu Creation Market

Town

TEL:28998

あまり品揃えは豊富ではない。

12.工具、素材

■Wilco Hardware

Tebakor

TEL:22385 FAX:25371

ミキサーやアイロンなど電化製品も販売。電化製品の品揃えは少ないが安い。

13.銀行

■Westpac Bank

Town

TEL:22084 FAX:24773

ATM機は銀行にのみ設置。

■ANZ Bank

Town

TEL:26355 FAX:23590

デビットカードサービスあり。ATM機が銀行以外に、スーパーなどでも設置されている。

14.レンタカー

■Budget

Nambatu

TEL:23170 FAX:23132

トラブルは最も少ない。

■AVIS

Town

TEL:25457 FAX:24968

市街地内にあり至便。

■Discount Rental

Nambatu

TEL:23242 FAX:23898

小型機のチャーターフライトサービスも行っている。

15.自動車修理工場

■Bodiam Engineering

Takabe

TEL:24297 FAX:26138

E-mail:bodiam@vanuatu.com.vu

16. 電話会社

■Telecom Vanuatu Limited(テレコム・バヌアツ)

BP 146, Port Vila

TEL:22185 FAX:22628

URL:http://www.tvl.net.vu/

E-mail:telecom@tvl.net.vu

17. 郵便

■中央郵便局 Town

TEL:22000 FAX:23900

7:30~16:30

日本までの料金:はがき 90 バツ、封書 110 バツから。

18. 国際宅配サービス

■DHL

Wharf

TEL:23943 FAX:26389

8:00~17:00

日本までの料金(目安):A4 サイズの封筒で 5000 円程度。重量が上がれば割安になる。

19. コンピューター修理

■PAC TEC

Town

TEL:22537 FAX:24604

E-mail:pactec@vanuatu.com.vu

20. 教育機関

<インターナショナルスクール>

■Ecole Francaise(エコール・フランセイズ)

Colardaeu

TEL:22926 FAX:25840

使用言語:フランス語

授業料その他:年間 30 万バツ程度(学年により異なる)

■Port Vila International School(ポートビラ・インターナショナル・スクール)

Independence Park

TEL:23837 FAX:27837

使用言語:英語

授業料その他:年間 30 万バツ程度(学年により異なる)

<幼稚園>

■Port Vila Kindergarten(ポートビラ・キンダーガーデン)

Independence Park

TEL:23515

対象年齢:3~5 歳

使用言語:英語

保育料その他:年間 25 万バツ程度

21. 図書館

■National Library

Town

TEL:22721

8:00~16:30

22. スポーツ施設

<ゴルフ>

■Port Vila Golf & Country Club(ポートビラ・カントリークラブ)

Mele

TEL:22564

料金:年間約 6 万バツ

首都から近い。

<テニス、フィットネス>

■Plei Plei Club(プレプレクラブ)

Tassiriki

TEL:22040 FAX:23340

料金:個人会員年間 3 万 4000 バツ、家族会員年間 5 万バツ

Le Meridien Hotel のクラブ。

23. 語学講座

■The University of the South Pacific: USP(南太平洋大学)

Tassiriki

TEL:23988 FAX:24371

料金:一般公開講座は1期で5000 バツ。

24. 旅行代理店

■Tamaso Alliat Wi Tours(タマソ・ツアー)

Town

TEL:25600 FAX:24275

8:00~17:00

航空券の発券も自社でできる。

■South Pacific Tours(サウスパシフィック・ツアーズ)

Town

TEL:26559 FAX:26561

8:00~17:00

日本人係員がいる。

25. 航空会社

■Aircalin(エアーカリン)

Town

TEL:22019 FAX:24301

8:00~17:00

ニューカレドニア経由便を主に扱う。

■Air Vanuatu(エアー・バヌアツ)

Town

TEL:23848 FAX:26591

URL:www.airvanuatu.com

8:00~17:00

国際線・国内線とも取り扱っている。カンタス航空とも提携している。

26. 輸送会社

■DHL

Wharf

TEL:23943 FAX:26389

8:00~17:00

■Vila Agent

Town

TEL:22490 FAX:23379

8:00~17:00

27. 自動車販売会社

■Asco Motors(アスコ・モーター)

Nambatu

TEL:22341 FAX:23374

トヨタの総代理店

■Intraco(インタラッコ)

Champoane

TEL:22314 FAX:23552

三菱、プジョー、スズキ、マツダの取扱店
